薬局用・病棟用・処置室用

化学療法指示書
FEC（5-FU+EPI+CPA）

＜対象疾患＞乳癌
治療内容（1クール期間：21日・総クール数：4回）

ID：@PATIENTID　患者氏名：@PATIENTNAME　医師：@ACTIVEUSERNAME
年齢(歳)：@PATIENTAGEY　性別：@PATIENTSEXN
身長(cm)：@REF_HEIGHT_0　体重(kg)：@REF_WHEIG　体表面積(m^2)：

クール数：　回目　投与開始日：

day 1

ボトル③の1時間前にアプレピタントカプセル(125mg)　1カプセル内服

本体	側管
ボトル①	

ボトル①　ルートキープ・フラッシュ用

生理食塩水（50mL）	1 V

ボトル②

30分

ボトル②　点滴静注

パロノセトロン（0.75mg/50mL）	1 袋
デカドロン（3.3mg/1mL）	3 A

ボトル③

全開

ボトル③　点滴静注

生理食塩水（50mL）	1 袋
フルオロウラシル（250mg/5mL）	mg
【 標準量　500 mg/m^2：　###### mg】	

ボトル④

全開

ボトル④　点滴静注

生理食塩水（50mL）	1 V
エピルビシン（50mg）	mg
エピルビシン（10mg）	mg
【 標準量　100 mg/m^2：　###### mg】	

ボトル⑤

30分

ボトル⑤　点滴静注

生理食塩水（100mL）	1 V
エンドキサン（500mg）	mg
【 標準量　500 mg/m^2：　###### mg】	

ボトル⑥

全開

ボトル⑥　点滴静注

生理食塩水（50mL）	1 V

day 2、3、4

day2、3　　アプレピタントカプセル(80mg)　1カプセル　分1　朝食後
day2、3、4　デカドロン錠（4mg）　2錠　分2　朝・昼食後

【医師の指示】

【薬剤師のコメント】

★使用するケモセーフロック★
・ボトル③・・・バッグスパイク（フルオロウラシルを輸液に混注後に装着する）×1
・ボトル④・・・バッグスパイク（エピルビシンを輸液に混注後に装着する）×1
・ボトル⑤・・・コネクター×必要分、バイアルアダプター×必要分、バッグスパイク×1
・ボトル⑥・・・バッグスパイク×1
★薬剤調整時の注意★
・エンドキサンは100mgあたり5mLの輸液で溶解する。なかなか溶けないので注意する。

調製者	監査者